

再使用禁止

ハイコントラスト ファイバーポスト

【禁忌・禁止】

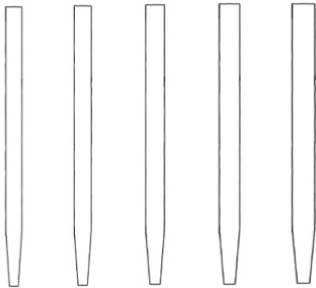
下記の症例患者には適用しないこと。

- 本品が直線的に装着できない症例
[製品の十分な効果が得られない可能性があります]
- 残存歯質の全周に渡る歯冠部高径 1mm 未満の症例
[製品の十分な効果が得られない可能性があります]
- 本品は単回使用の為、再使用はしないこと。
[感染の恐れがあります]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本品は、根管内に挿入し支台歯の補強もしくは維持のために用いるグラスファイバーで補強したレジン材料である。



種類	先端	全長
*φ0.8mm	0.51	20.00mm
*φ1.0mm	0.61	20.00mm
φ1.2mm	0.71	20.00mm
φ1.4mm	0.80	20.00mm
φ1.6mm	0.89	20.00mm

2. 主な原材料

グラスファイバー、エポキシ樹脂等

※シランカップリング処理済み

3. 原理

本品は、根充済みの歯牙の支台築造に用いることで、支台歯の維持または補強の効果が得られる。

【使用目的又は効果】

根管充填された歯牙の支台築造に用いる合釘であり、歯科修復物、補綴物等の維持又は補強に用いる。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- 手指の油やグローブのパウダーなど接着阻害因子が付着した場合は、アルコールで拭き取る。
- 本品は歯肉縁上に 1mm 以上の高さの健全な歯質を有する歯牙に適応可能である。
- 本品を直線的に装着できない湾曲した歯牙には適応しない。
直線的に装着形成された部分にのみ適応する。

2. 操作方法

直接法

1) 築造窩洞の形成

- ① X線写真等により根管の形状、長さを確認します。
- ② ゲイツドリル、ピーソリマ等を用いて築造窩洞形成を行います。必要場合はX線写真にて築造窩洞の深さの測定、確認を行います。また、歯冠部残存歯質の高さは1～2mm以上、厚さは1mm以上を目安に形成します。
- ③ 軟化象牙質を残さないように形成を行った後、切削片等を除き、水洗、乾燥を行います。

2) 試適

- ① 築造窩洞に本品を試適し、先端まで到達していることを確認します。
- ② 試適した本品をダイヤモンドディスク又はダイヤモンドバー等で適切な長さに調節します。

3) 表面処理

- ① 汚れがある場合は、アルコール等で拭き取り、エアーブローを行って確実に乾燥させます。
- ② シランカップリング剤を塗布し、表面処理をします。

4) 支台表面処理

口腔内支台形成表面にボンディング剤を塗布、前処理をします。

5) 植立

- ① 通法に従い築造窩洞の処理を行います。
- ② 根管内に歯科用支台築造材料を充填後、本品に同じ材料を塗布し、根管に植立します。（使用する歯科用支台築造材料の添付文書に記載されている使用方法に従ってください）
- ③ 歯科用支台築造材料の使用 방법에従い、必要に応じて光照射を行ってください。

6) 支台築造・支台歯形成

歯科用支台築造材料の使用 방법에従い、支台築造、支台歯形成を行います。

7) 支台築造・支台歯形成

歯科用支台築造材料の使用 방법에従い、支台築造、支台歯形成を行います。

間接法

1) 築造窩洞の形成

- ① X線写真等により根管の形状、長さを確認します。
- ② ゲイツドリル、ピーソリマ等を用いて築造窩洞形成を行います。必要場合はX線写真にて築造窩洞の深さの測定、確認を行います。
- ③ 軟化象牙質を残さないように形成を行った後、切削片等を除き、水洗、乾燥を行います。

2) 印象採得

通法に従い、歯科用印象材で印象採得し、模型を作製します。

3) 試適

- ① 支台窩洞内のアンダーカットはあらかじめワックス等でブロックアウトします。
- ② 模型上の築造窩洞に本品を試適し、先端まで到達していることを確認します。
- ③ 試適した本品をダイヤモンドディスク又はダイヤモンドバー等で適切な長さに調節します。

4) 表面処理

- ① 汚れがある場合は、アルコール等で拭き取り、エアーブローを行って確実に乾燥させます。
- ② シランカップリング剤を塗布し、表面処理をします。

5) 支台歯の作製

- ① 模型上の築造窩洞に分離材（ワセリン等）を塗布します。
- ② 模型上の根管内に歯科用支台築造材料を充填後、本品に同材料を塗布し、根管に植立します。（使用する歯科用支台築造材料の添付文書に記載されている使用方法に従ってください）
- ③ 支台築造材料を使用する方法に従い、支台部を築盛、硬化します。
- ④ 支台歯を模型から取り外し、アルコール等で分離材を除去し、硬化します。

6) 支台歯内面処理

口腔内支台形成内面にボンディング剤を塗布、前処理をします。

7) 支台歯の装着

支台歯を模型から取り外し、歯科用支台築造材料の添付文書に従い、築造窩洞に装着します。

【使用上の注意】

- 本品は記載の使用目的以外には使用しないこと。
- 本品は単回使用の為、再使用はしないこと。
- 誤飲防止又防湿の為、必要な場合はラバーダムを装着すること。
- 歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- 光照射を行う際は、照射器の直射を避け保護メガネ等を着用すること。
- ドリルによる根管形成に際してはメーカーの指示に従い、最大の注意を払って使用すること。
- 本品の使用により発疹等の過敏症状が発現した患者には使用を中止し、医師の診療を受けさせること。
- 本品の切削作業などの際には防塵マスク等を使用し、粉塵による人体への影響を避けるよう努めること。
- 本品が目的とする根管以外に触れぬようピンセット等で把持し取り扱うこと。
- 本品はオートクレーブや加熱による滅菌はできません。アルコール等薬液により消毒し使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- 本品は、多湿、直射日光等を避けて、常温にて保管すること。
- 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管、管理すること。

＜有効期間＞

製造日から3年。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

Angelus Japan 株式会社

電話番号：072-657-7756

＜外国製造業者＞

アンジェラス インダストリア デプロドゥトス オドントロジ
コス エス エー

Angelus Indústria de Produtos Odontológicos S/A

（国名：ブラジル）